

～沖縄県のシンボル～

県章



外円は海洋を、白い部分はローマ字の「O」と人の和を表している。内円は沖縄県の発展性を示し、「海洋」「平和」「発展」のシンボル。

県の花「デイゴ」



4月から5月にかけて真紅の花を咲かせる。琉球漆器の原料にもなり、燃えるような色は情熱の島沖縄にふさわしい。

県の鳥「ノグチゲラ」



沖縄本島北部山地にのみ生息する、キツキ科の珍鳥である。世界にも類をみない鳥で、国の天然記念物に指定されている。

県の木「リュウキュウマツ」



見事な枝ぶりとおまげ色がかかった美しい色で知られている。琉球王朝時代に植樹され、今帰仁村や久米島、伊平屋島の並木が有名。

県の魚「タカサゴ (グルクン)」



色彩豊かな美しい魚で、広く庶民に親しまれている。沖縄では数少ない大衆魚として広く県民の食卓に普及している。

県の蝶「オオゴマダラ」



日本の蝶としては最大種の1つである。白地に黒い斑模様でゆっくり優雅に飛ぶのが特徴で、黄金のさなぎとともによく知られ、親しまれている。